

遊歩一景

仁伍の辻堂 (蔵王学区)



古路の脇にたたずむ
辻堂は
お大師見守る
集いの場

蔵王交流館の東側に「仁伍（にご）の辻堂」というお堂があります。辻堂は、昔は市内の各地に設けられ地域の集会所や道行く人の休憩所として利用されました。地域の人々の話では、江戸時代後期に建てられたようで、昔から「お大師さん」と呼ばれて親しまれたそうです。毎年8月21日に祭りを催し、子どもたちにお菓子を配るなどの「お接待」が行われていました。

また、蔵王町の旧村時代に設けられた八十八か所巡りの札所にもなっており、今でもお参りをする人がいるそうです。周囲には、小学校跡地やJAの支店などがあり、地域の中心に位置していたのでしょう。

近年は、お世話をする世帯が少なくなり「お接待」は行なわなくなったそうですが、8月21日には掃除をして花を飾るなど、昔のままの姿を今に残しています。



他の写真・資料 ⇒



東部いれこみ情報

学習情報
No.264
9月号

2023年(令和5年)9月1日
発行 東部地域振興課
住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1
電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課
ホームページで 検索・QRコード



YouTube・トーチューブ
YouTube チャンネル: TouTube F ⇒



桜坂ギャラリー 講演会

●テーマ「端材から見えてくる
持続可能なものづくり」
にいさと

●講師 **新里 カオリ** さん

- ・RCC ラジオ番組「うららかなのたね」パーソナリティー
- ・立花テキスタイル研究所を創設し、廃棄物を利用した帆布染め製品を製作、自然を大切にしたい持続可能な暮らし方を実践・提案しています。

●内容 自然環境を大切にしたい暮らし方についてお話しいたします。

●日時 **9月30日(土)**
開場 9時30分 開演 10時
終了予定 11時30分

●会場 **東部市民センター**
2階 21会議室

●定員 60人 ※ 申し込みが必要です
※ 手話通訳の必要な方は事前にお知らせください。

●申し込み/問合せ/主催 東部地域振興課
電話 084-940-2574 FAX 084-947-5658
Mail toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

SDGsの目標に照らした合理的なアイデアや新しい技術などを活かした事例を紹介します。「私の場合」のSDGsな暮らし方について考えてみませんか。

主催・問合せ先 東部地域振興課
電話 084-940-2574
FAX 084-947-5658

「高めあう 人権感覚 確かな未来」

桜坂ギャラリー 企画展

「SDGsな暮らし方」

- 期間 **9月5日(火)**
~ **10月1日(日)**
- 場所 **東部市民センター**
2階 ロビー

ユニカールで世代間交流 伊勢丘学区

●ユニカールとは

氷上のスポーツ、カーリングを室内で手軽に誰でも楽しめるようにスウェーデンで考えられた「ユニバーサルカーリング」を略して「ユニカール」と呼んでいます。

●地域に広がるユニカール

伊勢丘学区では、2008年に公民館の社会教育活動講座の一つとしてユニカールを実施したところ、好評だったため、まちづくり推進委員会主催で定期的に大会が開かれるようになりました。

地域の方でユニカール普及指導員の資格を取得されたり、同好会が発足するなど地域に根付いたスポーツとなっています。

大会には子どもからおとなまで参加し、技術の



高い人のプレーを見て感心したり、ストーンの微妙な当たり具合で生まれる予想外の結果に一喜一憂したりして、プレーしている人も見ている人もハラハラドキドキしながら楽しんでいます。

“夏のこども教室”を開催しました

7月29日（土）に芦田川見る視る館で「夏のこども教室」を開催しました。講師は元盈進中学高等学校教諭の古本哲史（さとし）さんをお願いし「絶滅危惧種 スイゲンゼニタナゴ」と題してお話をいただきました。

水と水の生き物のことを学びました

始めに海や川など、地球にある水についてお話を伺いました。その中で、海水は97.5%で淡水はごくわずかな割合しかないことや、それでも海水魚より淡水魚の種類の方が多くこととその理由などについて説明をしていただきました。



魚の説明をする古本さん

スイゲンゼニタナゴなど 芦田川の生き物を観察しました

その後、施設内の水槽で飼育されている芦田川の魚を観察し、どんな種類がいるか調べました。また、昨年度から見る視る館で飼育



生き物の観察をする参加者

が始まったスイゲンゼニタナゴを観察し、背ビレに黒い点があることや、体に青いスジが

あることなどを確認しました。参加した子どもたちからは、「魚の種類を数えるのは難しかった」「全部は当てられなかったけど楽しかった」「スイゲンゼニタナゴは、希少生物ということは知っていたが、絶滅寸前で生息場所が二か所になっていることに驚いた」などの感想がありました。

最後に古本さんから「スイゲンゼニタナゴは絶滅危惧種のため、家庭では飼育ができない」「見つけたら見る視る館に連絡してほしい」と話がありました。

東部管内イベント・講座情報

坪生交流館

おひざにだっこでおはなししましょう
～絵本をひらいてみませんか？～

【日 時】 9月19日（火）

10時～11時30分

【内 容】 おもちゃサロンで絵本の紹介や
読み聞かせをします。お子さん
と一緒に絵本の世界にふれてみ
ましょう！

【対 象】 未就学児と保護者

【定 員】 15人

【会場・申し込み・問い合わせ先】

坪生交流館 084-947-2411

緑丘交流館

「防災講座」
～どうする？災害時の食事～

【日 時】 9月21日（木）

10時～12時

【講 師】 緑丘学区食生活改善推進員

【対 象】 どなたでも

【定 員】 10人 【材料費】 300円

【持参物】 エプロン、三角巾（大判のハンカチ
など）、ふきん、マスク、飲み物
（水分補給）

【会場・申し込み・問い合わせ先】

緑丘交流館 084-943-5495

大谷台交流館

親子体操

「ママもベビーもリフレッシュ」

【日 時】 10月11日（水）

10時～11時30分

【内 容】 お子さんと一緒に体操をして、リフ
レッシュしましょう！

【対 象】 未就園児と保護者

【申込締め切り】 10月10日（火）

*定員はありませんが、申し込みが必要です

【会場・申し込み・問い合わせ先】

大谷台交流館 084-948-0136

春日コミュニティ館

施設利用学習会

「アンコンシャス・バイアス」ってなあに？
～身近な差別、自分ゴトとして考えてみよう～

【日 時】 10月28日（土）

14時～15時30分

【内 容】 無意識の思い込みや偏見で誰かを傷
つけていないか、今一度立ち止まって
考えてみませんか？

【講 師】 市場恵子 さん（心理専門相談員）

*定員はありませんが、申し込みが必要です

【会場・申し込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

東部図書館からのお知らせ

展示「からだが喜ぶ元気飯！」

【期 間】 9月20日（水）

～10月16日（月）

【場 所】 東部図書館 1階フロアー

【内 容】 第20回ヘルシーメニューコンテス
トの投票と食に関するパネル展示

【問い合わせ先】

東部図書館 084-940-2575

健康講座「元気をつくるシニア食堂」

【日 時】 9月21日（木）14時～15時30分

【場 所】 東部図書館 2階集会室

【内 容】 フレイル予防の大切さ、シニア世代を元
気に過ごすための食生活について

サロンコンサート

【日 時】 9月26日（火）14時～14時30分

【場 所】 東部図書館 2階集会室

【内 容】 ハーモニカの演奏

【出 演】 杉本肇 さん ほか

東朋中学校を訪問しました

今回は、東朋中学校を訪問し、校長の新谷陽子さんと生徒指導主事の新谷恭平さんにお話を伺いました。

生徒の多様性を尊重する環境づくりとは

東朋中学校では、4月から「校則」を刷新したそうです。例えば制服。男子はズボン+ワイシャツ+ネクタイ、女子はスカート+ブラウス+リボンでしたが「女子もネクタイをしたい」という声から議論が始まり「男子 女子」の表記をやめて「制服の中から組み合わせて着る」に。髪型も細かい規定をやめ「中学生らしい爽やかな髪型」に。「らしさ」「爽やかさ」は一人ひとり価値観が違いますが、主体性に任せ価値観を押し付けないようにしているそうです。

結果、自由な部分はあるものの、来客や外出、式典などTPOに合わせる「社会性」が芽生えたと感じているそうです。

ありのままの気持ちで過ごせる日常を

一番避けたいのは、学校に行きたくない気持ちです。「性自認」「身体の特徴」「個性」などを「かくす」「いじられる」…そんな所に毎日通う日常はとても辛いこと。納得のいく話し合いと、お互いの多様性を尊重しあう関係づくりを大切にしたいと考えているそうです。

「配慮」も過ぎれば「特別扱い」になり逆効果に。全ての生徒がありのままに過ごせるよう教職員も時代に合った感性を磨かなければと日々学んでいると話されました。

「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。

発表報告

ふくやま♡まちづくり大学
東部地域まちづくりシンポジウム

話し合いからはじまる“ええこと”

地域づくりを一步前に進める取組として、8月27日に東部市民センターホールで、東部管内3学区(長浜・日吉台・大谷台)が実施した話し合いによるまちづくりに関する取組事例の発表を行いました。

東部地域振興課が支援した長浜学区のまちづくりミーティングの取組やまちづくりサポートセンターが支援した日吉台学区のつれのうてNIGHTの取組、社会福祉協議会が支援した大谷台学区のおたがいさまミーティングの取組について紹介し、参加者約80人が話し合いの場づくりへのヒントを学びました。

長浜学区はまちづくりミーティングを通じて地域の人と話すうちに色々な世代の人がお互いの意見を確認しながら話し合うことの大切さを発表し、日吉台学区は決まったメンバーで話し合うのではなく、学区内外の人が集まって対話をしながらお互いを認め合うこと、そのことによって信頼関係が築かれることを発表し、大谷台学区は地域が高齢化しているという現状の中で、今の地域に何が必要かを話し合っただけで事業化したことを発表しました。

意見交換の場では、会場から「担い手の確保をどのような手段で行っているのか」「若者を地域活動に参加してもらうにはどのような取組をしているのか」等の発言があり、活発な意見が交わされました。

桜のよよよ

まだまだ暑い日は続いていますが、お盆の頃の暑さに比べれば少しは朝夕が過ごしやすくなり、賑やかだった蝉の鳴き声も聞こえなくなり暑さの峠は越えたような気がします。

現在コロナウイルス感染症は第5類に分類され、油断はできないものの、人の活動が活発になる方向に向かっていくように感じます。こうした中、今年は旅行に出かけたり、久しぶりの帰省により家族団らんの時間を過ごされた方も多いのではないのでしょうか。

また、地域では4年ぶりに盆踊り大会やイベントが開かれ、久しぶりに顔を合わせる人もいて、色んなところで会話が盛りあがっている光景を目にしました。学校では入学した時からマスクを付けていたため、初めてマスクを取った顔を見たとか、楽しく話をしながら食事ができたというような話を聞きます。このように以前の賑わいが戻りつつある日常ですが、コロナウイルス感染症の流行のころには医療従事者やソーシャルワーカーに対し、偏見や差別、感染者者に対するインターネットでの誹謗中傷、また、デマによる外国人差別などの事象が起きました。これらは感染症に対する不安や無知からくるものでした。今後正しい理解と知識を持つことが重要です。

最後に、楽しみにしていた「あした川花火大会」が中止になったことが残念でした。来年こそは綺麗な花火が見れることを楽しみに1年間頑張ります。

